

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度)

※令和4年度から5年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円)交付金充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
1	三原村健康づくり支援事業	通常交付金	新型コロナウイルス感染症の影響で、地区集会所を活用してのつどい事業自粛をはじめ、高齢者が感染等を恐れ外出を控えることで、フレイルに落ちる可能性が高くなっている。閉じこもり傾向にある高齢者等へ保健師がアプローチを行うことで、フレイル予防とアフターコロナにおける地区活動の再開に向けた積極的な介護予防に繋げる。	R4.12.21 ～R5.1.19	1,242,386	1,242,386	保健師が使用する血圧計や体組成計などの器具購入 ・体組成計(インボディ)1台 ・アネロイド血圧計 2個 ・聴診器 2個 ・非接触体温計 2個  上記を購入後、コロナ以前に地区集会所へのつどい活動に参加していた住民、特定健診未受診者、独居者等へ訪問	新型コロナウイルスの影響で閉じこもり傾向にある高齢者等へアプローチすることで、フレイル予防及びつどい再開に向けた介護予防に繋がった。	住民課
2	三原村国保診療所コロナ対策事業	通常交付金	村内唯一の医療施設である診療所に電子カルテを導入することにより、患者一人当たりの滞在時間を短縮し、新型コロナウイルス感染のリスクを最小限にしながら診療できる体制を整えスタッフ及び患者の感染リスクを減少させ感染防止を図る。	R5.3.14～ R5.3.29	3,190,000	3,190,000	診療所へ医事一体型電子カルテシステムを導入した。	医事一体型電子カルテシステムを導入にすることにより、患者一人当たりの滞在時間を短縮することができ、新型コロナウイルス感染リスクを最小限とし診療することができた。	住民課
3	三原村国保診療所改修事業	通常交付金	村内唯一の医療施設であり、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場や検査機として活用されている三原村国保診療所において、感染拡大期でも安全に大規模接種や検査を実施できるよう、建物の機能強化を図るもの。	R4.12.27 ～R5.3.29	8,965,000	8,965,000	三原村保健センター屋上防水工事 8,151,000円 三原村保健センター屋上パネル等撤去取付工事 814,000円	診療所において安全に診療及び新型コロナウイルスワクチン接種を実施することができた。	住民課
4	新型コロナウイルス感染症対応土佐くろしお鉄道運行補助	通常交付金	新型コロナウイルス感染症の影響による運賃収入の減少に加え、燃油価格高騰により、経営状態が悪化している鉄道事業者に対し、住民の日常生活に必要な公共交通を維持する目的で、鉄道事業者が安全な運行を行うために必要な経費を緊急的に支援するもの。	R4.12.5～ R5.4.10	848,033	0	新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸収入が減少していた鉄道事業者に対し、鉄道運行の安全確保に必要な資金の支援を行った。  全体事業費:87,724,724円 補助率:県1/2、沿線市町村1/2(うち三原村0.9667%)  三原村補助金実績額:848,033円 内 線路保存事業:602,694円 電路保存事業:107,021円 車両保存事業:128,071円 運輸一般事業:10,247円	新型コロナウイルス感染症の影響による移動制限等に伴い、利用者が減少し運輸収入が減少した鉄道事業者に対し、車両や線路等の修繕費用を支援することで、安全安心な運行を維持することができた。	地域振興課
5	博覧会受け入れ環境等整備支援事業	通常交付金	連続テレビ小説「らんまん」の放送に併せ、草花が楽しめる星ヶ丘公園の来園者への受入環境整備、ガイド養成による魅力の発信等を実施し、コロナによる観光需要の低下からの回復、地域経済活性化を図る。	R5.1.16～ R5.2.9	2,697,440	2,697,440	コロナによる観光需要の低下からの回復、地域経済活性化を図るため、星ヶ丘公園の来園者への受入環境整備、ガイド養成による魅力の発信等を行い、博覧会受け入れ環境等整備支援事業を実施 総事業費:8,969千円 星ヶ丘公園の修繕整備費等 2,698千円	連続テレビ小説「らんまん」の放送に併せ、草花が楽しめる星ヶ丘公園の来園者への受入環境整備し、ガイドの育成等を行った。高齢者でも歩きやすいよう整備し、ガイド養成による魅力の発信等を強化したことで、コロナによる観光需要の低下からの回復、地域経済活性化を図れた。	地域振興課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度)

※令和4年度から5年度への繰り越事業を含む

6	地域振興券事業(R4通常分)	通常交付金	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化並びに当該影響下における原油価格及び物価の高騰により、大きな影響を受けた家計の負担の緩和及び消費の下支えを図り、地域経済の活性化に資することを目的とする。	R4.6.1～ R5.3.6	17,908,632	17,212,000	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化並びに当該影響下における原油価格及び物価の高騰により、大きな影響を受けた家計の負担の緩和及び消費の下支えを図り、地域経済の活性化を目的と、全村民を対象に振興券の発行を実施した。 対象者:1,430人 ③印刷製本費 256千円 封筒・チラシ 20千円 役務費 655千円 委託費(商品券返金事務一式)17,633千円	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化並びに当該影響下における原油価格及び物価の高騰により、大きな影響を受けた家計の負担の緩和及び消費の下支えを図り、地域経済の活性化につながった。	地域振興課
7	村内事業所感染予防対策	通常交付金	村内の事業所へ、感染予防対策としてマスク等の配布	R5.1.13～ R5.1.30	676,671	676,671	村内の事業所へ、感染予防対策としてマスク、ハンドソープ、消毒液の配布を実施 対象事業者:98事業者 ・ハンドソープ 145千円 ・不織布マスク 269千円 ・消毒液 263千円	村内の事業所へ、感染予防対策としてマスク、ハンドソープ、消毒液の配布を行ったことにより、感染リスクを低減しつつ、安全な営業を確保するための支援を行うことで安全に継続し、経営に取り組んでいた。	地域振興課
8	ふるさとあつたか便事業	通常交付金	三原小学校・中学校等出身者又は、実家のある等の大学・専門学校等に通っている学生及び新社会人に対し、三原村の地場産品を届けることで、経済的軽減とふるさとの温かさを伝、コロナに苦しんでいる村内事業者の支援に繋げる。	R4.9.22～ R5.3.9	865,609	865,609	三原小学校・中学校等出身又は、実家のある等の大学・専門学校等に通っている学生及び新社会人に対し、三原村の地場産品を届けた。 ・2回(秋・冬)発送に係る経費 ・対象者:30人 ・地場産品代 668千円 梱包代 25千円 送料 94千円 委託手数料(10%) 79千円 合計 866千円	三原小学校・中学校等出身又は、実家のある等の大学・専門学校等に通っている学生及び、新社会人に対し、三原村の地場産品を届けたことで、故郷を思い出し、ふるさとの温かさを伝えコロナに負けないよう応援することもでき、経済的にも支援できた。	地域振興課
					0	0			
10	観光パンフレット作製委託業務	通常交付金	コロナによる観光需要の低下からの回復のため、観光のパンフレットを作成し、配布することで村内への観光客の誘致を目指す。	R4.5.26～ R5.3.1	1,264,254	1,264,254	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客が減少しているなか、感染症拡大収束後に観光客の回復を図る為に、三原村の魅力をもPRする新たなパンフレットを作成した。  パンフレット作成部数:3,000部	作成したパンフレットを来村者に配布、また県内の観光案内所等に設置してもらうことで三原村の魅力をもPRすることができた。	地域振興課
11	必要物品供給事業	通常交付金	災害時の避難所における新型コロナウイルス感染症予防対策として村内の避難所にマスク、消毒剤、体温計を配布。	R4.11.18～ R5.2.21	144,425	144,425	村内の1次避難所に指定されている各集会所、14ヶ所と2次避難所に指定されている農業構造改善センター、中央公民館、小・中学校体育館にマスク、消毒剤、体温計を配布した。	各地区の集会所等で住民が集会所に集合する際及び各種イベント等で農業構造改善センター、中央公民館に集合する際にマスク、消毒剤、体温計を使用し新型コロナウイルス感染症対応が図れた。	総務課
12	避難所感染対策事業	通常交付金	避難者の避難生活における新型コロナウイルス感染症への対策のため、災害時に長期の避難者を受け入れる村内の2次避難所に間仕切りを配備する。	R4.11.18～ R5.2.7	792,000	792,000	村内の2次避難所に指定されている農業構造改善センターに間仕切り60個を備蓄した。	コロナウイルス感染症拡大期間中に接近した台風により避難指示が発令され避難所に住民が避難する事態もあつたがこれらの備えにより感染拡大防止をすることが出来た。	総務課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度)

※令和4年度から5年度への繰り越事業を含む

13	GIGAスクール支援事業	通常交付金	新型コロナウイルス感染拡大期においても、感染リスクを低減しつつ、児童生徒らの学びの機会を保障するためのオンラインでの遠隔教育の実施に当たり、安全な通信環境を確保するため、クラウドフィルタリングによる有害サイト等の通信抑制機能のあるモバイルデータ通信環境を各家庭に整えとともに、オンラインでの動画配信や授業実施に必要な編集用機材等を整備するもの。	R4.4.1～ R5.3.31	809,388	809,388	クラウドフィルタリング使用料 小中学校モバイルルーター使用料 動画編集用パソコン(HDMキャプチャー含む)、ワイヤレスハンドマイク、デジタルに出かけ 購入	感染リスクを低減し、安全な通信環境を確保のためクラウドフィルタリングを導入したことで学びの保障ができた。オンラインで学習の際の、動画配信や授業実施に必要な編集用機材等を活用することができた。	教育委員会
14	学校施設等感染予防対策事業	通常交付金	中学校・給食センターの新型コロナウイルス感染の感染拡大防止のための対策	R4.5.17～ R5.2.1	779,130	779,130	加湿器 購入 飛沫防止パーテーション 購入 弁当対応消耗品 購入	中学校での教室内環境整備、給食センターでの新型コロナウイルス感染の感染拡大防止のための対策を図ることができた。	教育委員会
15	修学旅行キャンセル手数料	通常交付金	新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行を延期した場合のキャンセル料に係る保護者の負担を軽減するもの。		0	0	新型コロナウイルス感染症による国際旅行の自粛のため、三原中学校学生研修事業を国内(九州地方)で行うこととした。感染症を疑われる症状での児童のキャンセルや、旅行自体の自粛要請が出た際に、標準旅行業約款が規定する国内旅行のキャンセル料金を支出することを見込んだ。懸念したキャンセルが発生しなかったため実績額は0で終了となった。	結果的に本事業を利用するに至らなかったが、キャンセル対応を選択肢に入れて研修事業の準備を行えたことは担当課の円滑な執行と、参加児童・保護者の安心感につながった。	教育委員会
16	農林業者臨時支援金	通常交付金	新型コロナウイルス感染症拡大による需要の減少に加え、原油高や物価高騰の影響を受けている村内の農林業者へ財政的な支援を行い経営の安定化を図る。	R5.2.27～ R5.3.10	5,500,000	5,500,000	新型コロナウイルス感染症拡大による需要の減少に加え、原油高や物価高騰の影響を受けている村内の農林業者へ財政的な支援を行い経営の安定化を図るために一律の定額給付(50,000円/1事業体)を110事業体に行った。	村の基幹産業である1次産業の農林業者への財政的な支援を行う事で経営の安定化に繋がった。	農林業建設課
17	農業収入緊急確保支援金	通常交付金	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による原油価格や物価の高騰により安定的な経営に支障が生じている米農家に対し負担軽減及び農業経営継続を図る。	R5.2.20～ R5.3.10	16,124,000	16,124,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による原油価格や物価の高騰により安定的な経営に支障が生じている米農家に対し負担軽減及び農業経営継続を図るために令和4年産の主食用米として出荷されたものに、1袋(30kg)につき2,000円を村内の米農家に対し8,062袋の支援を行った。	村の基幹産業である米農家へ支援を行う事で負担軽減及び農業経営継続に繋がった。	農林業建設課
18	地域振興券事業(R3通常分)	通常交付金	新型コロナウイルス感染症の影響の長期化並びに当該影響下における原油価格及び物価の高騰により、大きな影響を受けた家計の負担の緩和及び消費の下支えを図り、地域経済の活性化に資することを目的とする。		0	0			地域振興課
19	社会福祉施設等物価高騰緊急対策給付金給付事業	通常交付金	コロナ禍において、原油価格や物価高騰による経営悪化を防ぐとともに、サービス利用者が安心して社会福祉サービスを受けられる環境を維持するため、村内で社会福祉サービス等の提供を行う事業者を支援する。	R5.1.4～ R5.1.20	4,750,000	4,750,000	原油価格や物価高騰による経営悪化を防ぐとともに、サービス利用者が安心して社会福祉サービスを受けられる環境を維持するため村内4事業所に支援金を給付した。	価格高騰に直面している社会福祉施設等の負担を軽減することで、各事業所の運営を支援し、持続的なサービス提供体制の維持につなげることができた。	住民課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和4年度)

※令和4年度から5年度への繰り越事業を含む

20	子育て世帯給付金	通常交付金	新型コロナウイルス感染症が長期化し経済の不確実性が高まる中、原油価格、物価高騰等のあおりを受ける子育て世帯に対して、臨時的な給付措置として村独自に子育て世帯給付金を支給。	R5.1.12～ R5.2.10	6,700,000	6,700,000	令和4年11月30日を基準日として0歳～18歳、1人につき5万円を対象児童134名81世帯に給付した。	原油価格、物価高騰等により不安をかかえる子育て世帯が、安心して子育てが行えるよう支援することができた。	住民課
21	三原村コロナウイルス対策事業	通常交付金	検査キットを各自に配布し即座に検査することで村内の感染症拡大を未然に防ぐことを目的とする。また地区ごとで実施されるイベントや行事について、感染症拡大の観点から満足に行えていない経緯がある。各々が検査キットを使用した後に行事等に参加することで安心安全なコミュニティ活動の推進を目指す。	R4.9.27～ R5.3.20	5,580,740	5,580,740	新型コロナウイルス感染症の対外診断用医薬品(抗原検査キット)等を購入し、住民に2回に分けて配布した。(1回目:4500、2回目:3,100箱)併せて、イベントや行事に参加する際は、検査してから参加するよう促した。	新型コロナウイルス感染症の感染予防が図れた。	住民課
合計					78,837,708	77,293,043			